

令和2年4月1日

令和2年度 学校経営について

広島特別支援学校
校長 中尾 秀行

1 ミッション
チャレンジ・実現・貢献

2 学校教育目標
自立と社会参加を目指し、生きる力を育成する。

「この目標は、本校で学ぶ児童生徒が、多くの方々の支援を受けながら、自分がやりたいことを自分で見つけていくための自己実現力を養い、社会に参加し社会の一員として生きていくために必要な力を育ていく教育を行うことである。そのためには、児童生徒一人一人の教育的ニーズを明らかにし、一人一人の実態に応じたきめ細やかな教育を教職員がチーム一つになって取り組んで行きたい。」

3 ビジョン
・ 可能性へのチャレンジ
・ 夢や希望の実現
・ 社会に貢献

4 目指す子ども像
明るく 元気に たくましい子ども

5 目指す教師像
専門性と指導力の向上を目指し、児童生徒、保護者から信頼される教師

6 ビジョンの具現化

- (1) 児童生徒が持てる力を最大限発揮する教育の実践
 - ・ 障害の重度・重複化・多様化に応じた児童生徒理解
- (2) 主体的・対話的で深い学びの教育の実践
 - ・ カリキュラムマネジメントの推進
 - ・ 教育研究の継続的实施と公開
- (3) 地域社会に開かれた教育の実践
 - ・ 特別支援教育のセンター的機能の発揮
 - ・ 地域社会へのアカウンタビリティ
 - ・ 地域社会とつながり働きかける

7 ビジョンの具現化に伴って

- (1) 教育内容の充実
 - ア 研究主題「主体的・対話的で深い学びを目指し、思考を支える言葉の力を育むための授業づくり」2年次副題「言葉を使って伝え合おう」に向けた授業研究を行う。
(令和2年度公開授業研究会 令和2年11月26日(木))
 - イ 教員一人一人が指導案を作成し、年1回の授業研究を行う。
 - ウ でじまマネジメントの推進
- (2) 健康教育の充実
 - 自ら進んで歯・口の健康づくりに取り組む児童生徒を育成し、「むし歯なし」「歯垢なし」「歯肉炎なし」の児童生徒「0(=パーフェクト)」を目指す。
- (3) 進路指導の充実
 - ア 生徒、保護者の願いに応える進路を行い、令和2年度卒業生の進路決定100%、企業就職率40%以上を目指す。
- (4) 令和2年度第31回中国・四国地区特別支援学校知的障害教育校 PTA 連合会研究

協議会（広島大会）の本校開催 令和2年10月2日（金）、3日（土）

- (5) 増築校舎の実施設計（教育課程・教育内容、諸室、施設・設備等）
- (6) 障害のある子どもへの医療的ケア実施事業の充実と医療的ケア体制整備

8 働き方改革及び超過勤務の縮減

- (1) 会議の効率化、スリム化、職員会議のペーパーレス化
- (2) 前年度作成されたデータ（ファイル）の活用と教材・教具・支援ツールの共有化
- (3) 職員朝会の月・火・木実施（連絡事項をコンピュータ本校共有の掲示板で確認）
- (4) 定時退校日（毎週水曜日）の徹底
- (5) 業務の見直しを行うとともに、個人に業務が偏らないよう業務を平準化

9 教職員の健康、安全と衛生

- (1) 衛生委員会を毎月開催し、内容を教職員に周知

10 チームとしての協働

- (1) 教職員一人一人が組織の一員として、力を合わせて仕事に従事

11 服務規律の確保と中立性の確保、法令遵守

- (1) 不祥事の撲滅
- (2) 場に応じた服装
- (3) 挨拶の励行、ルール・マナーの遵守、名札の着用

12 特別支援学校における学び続ける教師とは（専門性の確保と教師力の向上）

- (1) 児童生徒一人一人の障害の状態や特性に応じた適切な指導と必要な支援を行うため、指導の在り方等の工夫・改善に全力で取り組む。
- (2) 児童生徒の一人一人の教育的ニーズを見立て、個別の指導計画、個別の教育支援計画を立てる力の向上を目指す。
- (3) 児童生徒の教育的ニーズを適切に把握し、目標、指導内容、指導方法が設定できる力の向上を目指す。
- (4) 教師としての基本的な要素である、教科等の指導、児童生徒の理解に基づく学級経営・生徒指導、教職員間や地域・専門機関等との連携・協働を行う力の向上を目指す。
- (5) 保護者・家族への支援に努め、保護者・家族の思いや願いを受け止め、理解する。